

第59回 長野市公共交通活性化・再生協議会 議事概要

1. 日 時 令和8年3月24日（火） 午後2時00分から午後3時00分
2. 場 所 長野市役所第一庁舎5階 庁議室
3. 出席者 委員24人、欠席6人、事務局職員8人、高齢者活躍支援課職員2人
4. 次 第
 - 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 報告事項
 - (1) 令和7年度協議会事業実施状況及び決算見込みについて
 - 4 協議事項
 - (1) 令和8年度協議会事業計画及び予算（案）について（一般会計、事業会計）
 - 5 その他
 - 6 閉会

（議事概要）

3 報告事項

事務局から資料1-1、1-2、1-3を用いて報告

[意見等]

（A 委員）

令和7年3月からのICカード利用率がアルピコ交通さんで76%、長電さんで70%となっているが、Suica機能等を使えるようになったことで従前のカードよりも利用率が高まっているという見方はできるのか。

（事務局）

利用率は高まってきている。Suica機能を搭載したことで観光客の方の利用も増えている。また、パスポートの利用が6月以降始まったことで、その分の利用率が上乘せされた部分もある。

4 協議事項

事務局から 2-1、2-2、2-3 を用いて説明。本件は承認された。

[意見等]

(A 委員)

資料 2-2 のスマート通勤応援事業の「その他推進費」とあるが、具体的にどんなことを考えられているか。

(事務局)

基本的にバスの乗り方教室事業及びスマート通勤応援事業に関連する事業費として計上している。具体的な使用用途については想定していない部分もあるが、関連する雑費等として計上している。

(A 委員)

広告宣伝やチラシだけでは行動変容を促すのは難しいと思う。積極的な方策を取るべきではないか。特に時差出勤やフレックスタイムの導入は、通勤者だけでなく事業所側の協力が必要。その辺りの見通しはどうか。

(事務局)

動機づけも含めて、施策の中で実施していくのが重要だと考えている。来年度は商工会議所の協力を得て、市内事業所の通勤状況調査を予定している。その結果を基に効果的な施策を検討していきたい。

(A 委員)

以前のアンケート調査では、長野駅周辺の事業所が対象だったが、対象地域を広げる必要があるのではないかと。特に長野市に流入してくる自治体の協力を仰ぐことが重要ではないか。

(事務局)

今回のアンケート調査では、商工会議所の協力を得て、市内全事業所を対象に実施。また、個人向けのアンケート調査も計画しており、両方の視点から施策の方向性を検討していきたい。

自家用車通勤者へのアンケートでは、近くにバス停や駅があっても利用しない方が 8 割を超えていた。実際は自家用車でなくてもバスや電車で通勤できる方もいると思う。ただそれでも自家用車は便利なので、自家用車で通ってしまうという実態がある。難しいがその方たちに公共交通を利用してもらうことを考えていく。

(B 委員)

地域公共交通計画の策定において、運転手不足などの課題にどう対応する予定か。
また、計画策定のプロセスについて教えてほしい。

(事務局)

運転手不足は喫緊の課題であり、広島市や熊本市の事例を参考に、長野市に合った官民共同運行などの新しい仕組みを検討している。令和7年度は公共交通の在り方調査を先行して実施し、その結果を基に課題を洗い出し、令和8年度の協議会内で議論を進める予定。バス事業者やタクシー事業者とも事前に調整を行いながら進めていく。